

陸上選手として活躍したい



久保沙都実さん
(下町2区)

7月27日大阪府長居陸上競技場で開催された、第23回全国小学校陸上競技交流大会で走り高飛び栃木県代表として出場した、久保沙都実さん(上三川小学校6年生)にお話を伺いました。

現在上三川小学校陸上部に所属する久保さんは、6月に行われた県予選で125cmを飛び見事優勝し、代表の座を射止めました。県大会で優勝したときのことをたずねると、「とてもうれしかったです。」と元氣よく答えてくれました。全国大会では、県大会の記録を1cm上回る126cmで16位に入ったとのこと。予選通過はならなかったものの、県大会の記録を上回り、結果を残せたことで、先生に褒められてうれしかったとのことでした。陸上競技を始めたいきっかけをたずねると、「小学校4年生のときに陸上部を合唱部と勘違いして、入部してしまいました。でも入部すると陸

今日の輝ける星

上は面白かったです。」と、意外にも勘違いから陸上を始めたことを話してくれました。

県大会では、リレーのメンバーとしても出場した久保さん。得意な種目は、やはり走り高飛びとのことでした。練習については、「自分は体力がないのでリレーの練習が辛いです。長く走るのが苦手です。」と自己分析。最初は100mを専門に行っていました。ハードルの練習を始めたら、あまりにもハードルを高く飛んでしまい失速してしまうため、陸上部の顧問である平塚先生から、「バネがあるので走り高飛びをやってみよう。」の一言で走り高飛びへ転向。転向するとその素質が開花し、見事県予選優勝することができました。

久保さんに将来の目標をたずねると、「練習では130cmを飛んでいるので、140cmが飛べるように頑張りたいです。将来は、陸上選手として活躍したいです。」と大きな目標を語ってくれました。



かみのかわ 四季の野鳥 アオアシシギ (青脚鳴) シギ科

猛暑の八月も終わって、一面の緑色だった田んぼが日増しに黄金色に変わっていきます。気がつくと、道端でも秋草が穂を伸ばしています。

まだ水の張ってある休耕田で、4羽のアオアシシギが羽を休めていました。家族の群でしょうか…。まだ若いシギもいます。春に日本列島を北上してシベリアなどの繁殖地に向かったシギたちは、子育てを終えて南へと帰って行く旅の途中です。

アオアシシギは、体長約35cm、キジバトくらいの大きさの中型のシギで、やや上に反ったクチバシと青緑色の長い脚が特徴です。羽色は灰褐色で腹部は白く、羽を広げると背中から腰・尾にかけての白色が目立ちます。浅い水の中を歩きながら水生昆虫、ミミズ、カエルなどを捕えて食べます。渡りの時期には数羽の群が、川岸や水田、干潟などに見られ、よく透る声で「キョーキョーキョー」と、もの悲しく鳴きます。

シギの仲間には、毎年、北半球と南半球を往復するものも多く、1万キロ以上を渡る種類もいてその飛翔力には驚かされます。夏は涼しい北極圏で、冬は南の国で暮らすシギたちは優雅でうらやましい感じがしますが、渡りはシギたちの命がけの旅なのです。



水面で羽を休めるアオアシシギ



獲物を探すアオアシシギ